令和８年第１回市会定例会　局別審査での質疑＆答弁

すべての世代に選ばれる横浜へ向けて

【都筑区選出】横浜市会議員
市来えみこ

健康福祉局

■介護ロボット・ICT導入支援の拡充を！

都筑区内の介護施設を視察し、介護人材不足を補うとされるICT機器の活用状況を確認しました。

ICT機器「見守りセンサー」により夜間の見守りの効率化や記録作業の負担軽減など、職員の働きやすさ向上が図られていました。今後ますます高齢化が進む中で、介護ロボットやICT機器の活用は必須と考え、**介護ロボット等導入支援事業を拡充すべき!と要望し**

➡【健康福祉局長】から「**補助の上限額を引き上げと件数拡大も**する」との答弁を得ました。

さらに、「**車椅子が支援対象にはなっていない**ため、長年修理し続けながら使用している」との現場の声を届け「あって当たり前」とされる**福祉用具も支援対象にすることも要望**しました。

■市民に寄り添った終活支援事業を

R7年11月に開始された「**ヨコハマあんしん登録**」は、予期せぬ病気などで意思の確認が難しい時、警察・消防・医療機関等からの照会を受けられ、ご本人の意思に沿う対応をするための事業です。

同時に、**相談窓口「あんしん終活相談センター」も開設**され、私の一般質問（令和6年12月）で、「どこに相談したらよいか分からない」身寄りのない高齢者が抱える、**お困りごと「おひとり様まるっと相談窓口」への要望**をカタチにしていただけたと評価し、**対応状況と今後について**伺いました。

➡【地域福祉保健部長】から、開設から**3ヶ月で約350件**の終活全般多岐にわたる相談あり。**終活支援の一層の充実に取り組む**、との答弁を得ました。

■ひとり親家庭の医療費手続きをオンライン化を！

本年6月より、小児医療費助成の対象年齢が18歳まで拡大されます。我が党は、34年前の1992年から本市へ初提案し、訴え続けてきました。一方、**ひとり親家庭等医療費助成はオンライン対応が限定的**です。時間的な負担軽減に向けて、本市の子育て応援アプリ「パマトコ」による**ひとり親家庭等医療費助成事業の手続きを拡大すべき、と訴え**ました。

➡【健康福祉局長】から、「パマトコ」での**オンライン申請を開始**する、との答弁をえました。

建築局

■公共施設の脱炭素化と長寿命化の推進

公共施設では老朽化対策に加え、省エネや資源循環型社会への移行が求められています。ニュータウンとされる**都筑区**も、昨年**区政30周年**を迎え、公共施設の老朽化が進み、対応が急がれる状況です。**8年度には北山田地区センターの空調設備の更新**が予定され、一層の老朽化対策が必須です。

そこで、省エネルギーと快適性を両立する施設のZEB化改修の推進により、2050 年の「ゼロカーボン横浜」の実現に向け、**ZEB 化の一層の取組を要望**し、

➡【建築局長】から、8年度は**都筑区の新栄地域ケアプラザなど10施設でZEB化に向けた可能性調査を実施**予定、との答弁を得ました。

■子育て世代に選ばれるまちづくりの推進

都筑区あゆみが丘では、最高レベルの省エネ性能を備えた、脱炭素化のモデル街区「Green×Housing Project あゆみが丘」が進められています。横浜らしい「公有地+グリーン+子育て」として魅力ある取組みです。

地元民のお声として**「ドッグランを!」「プレイパークを!」「防災機能やWifi環境をも備えて」との要望**を届けました。

市来えみこ政務活動事務所
〒224-0053 横浜市都筑区中川中央1-22-5 グレースコート402号
発行人・掲示責任者：市来栄美子
X(Twitter)
Instagram
Tel:045-482-9201
ichiki.emiko.yokohama@gmail.com
http://ichikiemiko.jp

民衆の声 ボイス
No.115
公明党 横浜市会ニュース
VOICEよこはま
http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市会議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL671-3023 FAX681-2060

「スマート防犯シティ横浜」により誰もが安心して暮らせるまちを実現

「暗がり」ゾーンの解消へ 防犯灯設置

令和 11 年度までに「暗がり」の解消をめざし、GISマップを活用して25m間隔を基準に防犯灯を整備し、特に暗い場所には重点的に設置します。

（防犯灯 **715 灯を新設**）

こどもの見守り体制

モデル事業として、約 500 灯を スマート防犯灯（IoT 機能内蔵）に更新。見守りタグと連携した位置情報を可視化し、こどもの見守り体制の強化に取り組みます。

地域防犯カメラの設置

予想を上回る自治会町内会からの申請に対応するため、地域防犯カメラの補助台数を 240 台に拡充します。

宅配ボックス設置支援

ネット通販の普及で宅配需要が高まる中、再配達の負担軽減や CO_2排出の削減、利便性向上を図るため、宅配ボックスの設置費用を支援し、安心して荷物を受け取れる環境づくりを進めます。

［想定件数：6,700 世帯、半額補助（未定）］

政令市初 がんの早期発見・治療へ

がん検診・精密検査の無料対象を拡大

生涯に２人に 1人が罹患すると言われる「がん」。早期発見・早期治療につなげるため、横浜市のがん検診制度を拡充します。

■無料対象の拡大・追加

項目	内容
1. 項目	がん検診・精密検査の無料対象を65歳以上に拡大
2. 項目	前立腺がんの精密検査も対象に追加

※横浜市がん検診（無料）受診後、精密検査が必要となった場合の検査費用

特別養護老人ホームの待機期間短縮へ

特別養護老人ホームへの入所を必要とされる方が早期に入所できるよう支援体制を強化します。

新たな取組で入所支援を強化

①入所調整を支援するコーディネーターを配置
②申込者に適した施設を提案

待機期間短縮実現へ

項目	内容
現状(見込)	令和7年：平均7か月
目標	令和11年：平均4か月
改善内容	待機期間を約３か月短縮

公明党市議団 YouTube

YouTubeチャンネルが始動

公明党横浜市議団の議会・市政報告「ボイスヨコハマ」を中心に分かりやすく解説しながらお届けします。皆さま、チャンネル登録よろしくお願い致します。

Voice よこはま
公明党横浜市会議員団
YouTube サイト

政務活動最前線

中東の平和と安定を！外交努力を求める決議

公明党提案による「中東地域での紛争の早期収拾を求める決議」を、3月 24 日の本会議で全会一致により可決しました。米国・イスラエルによるイラン攻撃を契機に紛争が発生し、市民への被害やエネルギー・物価への影響が懸念されています。横浜市会として、日本政府に対し、国際社会と連携した外交努力により、事態の早期沈静化と地域の平和・安定の確保を求めるものです。

ピンクシャツデー 2026 いじめや差別のない社会へ

カナダ発祥のいじめ反対運動「ピンクシャツデー」は、現在約 180 の国や地域に広がっています。2月 20 日の市会本会議では、議員全員がピンク色のものを身に着けて審議に臨み、「いじめのない社会」の実現に向け決意を新たにしました。

語れる公明党実績～令和8年度予算を巡る論戦より

教育委員会

『図書館サービスの拡充を』

行田　朝仁（青葉区選出）

令和8年度に青葉区・港南区で滞在型図書取次拠点「ブックス&ラウンジ」を整備し、令和 11 年度までに市内 40 か所へ拡大する計画を踏まえ、更なる利便性向上を求めました。教育長は「サービスの充実・拡充に取り組み、『図書館が変わった!』と実感できるようスピード感を持って進める」と答弁しました。今後も図書館「1区1館」の見直しを求めてまいります。

健康福祉局

『ICT機器･見守りセンサーへの補助拡大を』

市来　栄美子（都筑区選出）

介護人材不足が深刻化する中、私は都筑区内の介護施設を視察し、ICT 機器「見守りセンサーの活用状況」を確認しました。それを踏まえ「今後ますます高齢化が進み介護ニーズがさらに高まる中で、介護ロボットやICT機器の導入支援事業を拡充すべき」と訴えました。局長は「令和8年度は補助上限額を引き上げ、補助件数も拡大する」と答弁しました。

総務局

『防災・減災の取組に女性の視点を』

竹内　康洋（神奈川区選出）

防災・減災の取組に女性の視点を取り入れる重要性について質問しました。担当理事は「女性の視点で必要な備えや考え方を伝える『わたしの防災力ノート』を、能登半島地震の被災者や支援団体、女性リーダーへのヒアリング等を踏まえ、令和8年度中に更新する」と答弁。さらに「『女性の防災担い手研修』を全区で実施し、『男女ニーズの違いに配慮した防災研修』も開催する」と応じました。

水道局

『能登半島地震支援の経験を活かせ』

髙橋　正治（緑区選出）

能登半島地震の応援派遣を通じて水道局職員が得た経験について質問しました。局長は、「被災地でベテランと若手がチームを組み応急活動にあたる中で、被害状況を的確に把握し、想定外の事態にも組織として臨機応変に対応する力を養えたこと、また被災者の声に向き合い早期復旧に取り組んだ経験等が、水道の重要性と使命感を強くする貴重な機会になった」と答弁しました。

財政局

『新たな財源創出に向けた基金運用を』

木内　秀一（旭区選出）

我が党は、昨年国において「ジャパン・ファンド」構想を提案しています。本市では令和6年度から減債基金の一部を活用した債券運用で運用益を確保していることから、「今後も基金の運用を積極的に行うべき」と新たな財源創出へのさらなる活用を求めました。副市長からは「基金運用を拡大して、更なる財源創出に取り組む」と答弁を得ました。

都市整備局

『新根岸地区のまちづくり』

福島　直子（中区選出）

新根岸地区のまちづくりは、「周辺地域のまちづくりと共に進めるべき」と訴えました。副市長は、「長らく土地利用を制限されてきた地権者や、生活上不便を強いられてきた近隣の方々には一日も早い返還と跡地の活用が求められている。周辺地域の活力や防災性の向上等に資するまちづくりにスピード感を持って取り組んでいく」と答弁しました。

※質問後、日米合同委員会が本年 6 月 30 日までの返還を発表しました。

脱炭素･GREEN×EXPO推進局

『シャトルバス利用者の安全対策』

仁田　昌寿（南区選出）

GREEN×EXPO 2027で主な来場手段となるシャトルバス運行（瀬谷・三ツ境・十日市場駅）について、乗降場と鉄道駅を利用する来場者の安全確保のため滞留空間の確保が必要と主張しました。局長は、「駅前の公共空間に加え、近隣の民地のオープンスペースを滞留場所として活用する方向で調整を進めている。また、的確な案内表示や警備員による誘導を予定している」と答弁しました。

にぎわいスポーツ文化局

『熱中症対策としての夜間照明』

武田　勝久（磯子区選出）

これまでもわが党が推進してきた学校施設への夜間照明の設置は、スポーツにおける熱中症対策としても有効であることから、さらに推進すべきと質問しました。局長より「スポーツのほか地域の夏祭りなど、多くの皆様にご利用いただき、暑さ対策にも寄与していると考える。今後とも地域のご理解をいただきつつ、着実に事業を進めていく」との答弁がありました。

道路局

『市営駐輪場の整備･拡張を8年度より開始』

望月　康弘（港北区選出）

「需要の高い駅へ市営駐輪場を新設すべき」との質問に対し、道路政策担当理事は、「適切な整備は放置自転車防止に不可欠な施策であり、各駅の利用状況や定期利用の待機数を把握した上で、特に収容能力が不足している地域を優先し、令和 8 年度から市営駐輪場の新設や拡張を積極的に進めていく」との方針を示しました。

国際局

『ITTO とのパートナーシップ深化へ』

中島　光徳（戸塚区選出）

市内国際機関との連携について、「ITTO 横浜誘致 40 周年」に関する所感を質問しました。副市長からは、「ITTO が横浜に本部を設置されて以来、40 年の長きにわたり、世界の熱帯林保護や生物多様性保全に尽力されてきたこと、また来年はいよいよ GREEN×EXPO が開幕することを踏まえ、ITTO とのパートナーシップを一層深めていきたいと考えている」との答弁がありました。

こども青少年局

『妊産婦・乳児の避難環境の充実へ』

久保　和弘（瀬谷区選出）

妊産婦・乳児のうち拠点避難所での生活継続が難しい方のため整備する母子専用型福祉避難所について、「災害時は自力での移動が困難な場合も多く、避難のしやすさに配慮した利便性の高い場所に確保すべき」と訴えました。局長は「避難所は安全性と利便性を兼ね備えることが重要。災害リスクや耐震性、避難者が安心して過ごせる環境、避難のしやすさ等を総合的に判断して選定する」と答弁しました。